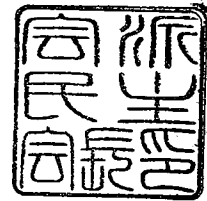


令和3年8月19日

鳥取県知事 平井 伸治 様

会派民主

会長 福間 裕隆



9月補正予算編成等に当たっての要望事項について

令和3年度9月補正予算編成等に対して別紙のとおり要望しますので、予算編成及び今後の県政運営にあたり格段の御配慮をお願いします。

## 1 新型コロナウイルス感染症対応について

(1) 感染症陽性者は原則自宅療養なしの対応をすること。

ホテル等での宿泊療養対応不可の場合に備え、集団療養対応可能な臨時病床確保を考慮すること。(8月19日現在、県東部に自宅療養者73名)

(2) 保健所人員増について、緊急対応として、兼務職員ではなく、本務職員を増員するなどして体制整備すること。

(3) 人流抑制による経営・生活困難に陥った者に対し、迅速かつ十分な各種必要支援金を補償する制度をつくること。また、商工会や商工会議所に加入していない零細企業では制度のことを知らなかったり、申請手続きが煩雑なことから申請を断念するなどして、支援が受けられないことがある。制度の周知徹底と申請のサポート強化を図ること。

(4) PCR検査拡大を行うこと。

エッセンシャルワーカーを始め、必要に応じ希望者全てに対し、無料行政検査が可能になるよう、強く国へ要請すると共に県として先行できないか検討すること。

## 2 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく時短要請・外出自粛協力要請に影響を受けた飲食業支援について

(1) 「協力金」額の引き上げや、「月次支援金」と「営業時短要請協力金」の両方を受給できるように、国に強く要請すること。

(2) 第5波の経済状況への影響の大きさに鑑み、第4波の応援金と同様の支援(応援金)を行うこと。

(3) 「認証店制度」利用の推奨など県民が安心安全に飲食店を利用できるよう周知をすること。

(4) 感染拡大状況で「ロックダウン」のような強い措置を取る際には必ず「持続化給付金」「特別定額給付金」等の充実した「補償」とセットで行うことを国に対して要請すること。

### 3 子どもの安心安全確保について

- (1) 教育現場の建物の経年劣化等により7月豪雨の際も多く雨漏りが指摘された。

昨年文科省から通達があった専門家による定期検査もまだ充分に行われておらず見過ごされた雨漏りや敷地内排水不良等不都合な点もあり、今後の自然災害に備え、県下教育施設の総点検を行うこと。

また、専門家による定期点検が実行されるよう、県、市町村が連携し、情報共有すること。

- (2) 非常時（感染症拡大、自然災害、事件事故等）の対応として、日常、子どもの居場所となっている事業者が子どもの受け入れが出来ない場合の対策を検討すること。

急に仕事が休めない保護者に対し生活困難が起きないように、子どもの受入場所（保育園、幼稚園、学童保育、障がい児デイサービス・ショートステイ等）や雇用事業所も含め、各々のBCPも視野に入れ子どもの安全な居場所確保を検討すること。

併せて保護者が休暇取得できる仕組みを作ること。

### 4 LED防犯灯について

「星空に優しい安全なまちづくりLED防犯灯設置等促進事業補助金」について、既設のLED防犯灯を更新する場合も補助対象とすること。

### 5 町内放送設備の除却費用の補助について

危険老朽空き家やブロック塀等の除却費用について補助金があるように、倒壊すると危険な老朽化した町内放送設備の除却についても同様の補助を行うこと。

### 6 災害対策について

熱海市の土石流災害を踏まえ、県内の土砂災害警戒区域上流に造成された盛土のみを対象にした「盛土危険箇所（223カ所）」の点検を行っているが、今後の台風等大災害の可能性を鑑み、人工構造物が立つ付近の盛土の全てを点検の対象にし、市町村、民間にも協力を依頼し実施すること。